

学校 番号	23	学校名	長野県更級農業高等学校
----------	----	-----	-------------

平成 25 年度 学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【平成 26 年 2 月 18 日（火）開催】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- (1) 参加者
学校評議員 5 人(欠 2)、学校関係者 10 人（校長・教頭・事務長・教務主任・生徒指導主事・進路指導主事・生徒会主任・農場主任・学校評価委員長・職場代表）
- (2) 内 容（次第）
①開会のことば（教頭） ②学校長挨拶 ③協議：学校の近況、学校評価、生徒指導、進路指導・学習指導、生徒会活動、農業教育（各分掌代表） ④学校評議員からの意見聴取 ⑤意見交換：スクールコンプライアンスについて [今年度の取組報告、近隣中学校の取組状況、学校評議員からの御意見] ⑥まとめと御礼（学校長） ⑦閉会のことば（教頭）

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- (1) 本年度の総括として、学校評価結果や各主分掌の活動状況に係わる具体的な資料を提示することによって、学校理解を促進し客観的な外部評価をいただくことができた。
- (2) 広報紙（「更農 Now!!」及び「更農News Paper」（教務発行）、「あぐり」（生徒会新聞委員会発行））を配布し、本校の特色と魅力、生徒の活躍の様子をビジュアルに伝えることができた。
- (3) スクールコンプライアンスの協議では、コンプライアンス推進委員 5 名に、第三者委員の P T A 副会長（P T A 会長欠席）、学校評議員の皆さんを交えて外部からのご意見をいただくことができた。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

【感想・意見・要望】

《全般》

- ・今年から学校評議員を委嘱されているが、年間のまとめとして豊富な資料が用意されており、このように学校評価や各分野の教育活動がしっかり行われていることを初めて知り、驚いている。正直なところ、学校を外から見ているだけでは分からなかったことがたくさんあった。

《生徒指導》

- ・篠ノ井地区では、今年から地域全体で「あいさつ運動」を展開しているが、本校の生徒はよくあいさつができ、気持ちがよい。（⇒学校評価結果の「あいさつ励行」に関する項目は、職員・生徒ともに高い評価で、地域からの評判もよい。）
- ・最近の生徒は、規範意識が薄く、社会性が乏しい。また、言われたことはやるが、自ら考えて行動する力が欠如していると感じる。（⇒生徒指導については服装・頭髪をはじめ校則遵守を比較的厳しく指導している。今後さらに、規範意識の高揚と自発的・自律的行動力の育成に努めたい。）
- ・最近、自転車事故が多く、自転車の整備・点検はもとより、被害者に対する損害賠償のための保険加入の勧誘をお願いしたい。合わせて、乗り方の指導や交通マナーの徹底をお願いしたい。（⇒本校では P T

A会計で全生徒対象の損害賠償保険に加入している。全学年に対して年1回の交通安全教室を実施。また通学路上での自転車乗車・歩行指導もしている。）

- ・1年生に自転車事故が多いとのことだが、現在3年生対象に実施している自動車学校での交通安全教室を1年生対象に変更することで、事故防止につながるのではないかと。(⇒交通安全教室の指導内容について見直し検討したい。)
- ・携帯電話(スマホ)に係わるトラブルが頻繁に発生しているので、潜む危険性や使い方マナーを学校及び家庭でしっかり指導する必要があると感じる。(⇒本年度各学年が主体となって、端末のロッカー保管や使用時間の取り決め、スマホ歩きの禁止、授業中の使用厳禁の指導の徹底に努めた。また、ネットいじめや誹謗中傷については、人権意識の観点からも教科やHRで予防的にモラル教育に努め、発生した事案に対しては迅速かつ厳しく指導している。)

《学習指導》

- ・「基学」の取組は、重要である。それと相まって、基礎学力の定着及び向上のためには、子ども達の家庭での学習時間が少ないため、強化しなくてはならない課題であり、日常的な学習課題(宿題)の必要性を感じている。(⇒授業を第一に考え、わかる授業・できる実感を大切にしたい。各教科で設定した基礎学力を評価し、その程度に応じて宿題や課題については検討したい。)
- ・「基学」の取組は必要だが、やりっぱなしの学習とならないように、事後指導の時間を確保し、分からないところを分からせる指導を是非お願いしたい。(⇒指定教材の範囲を指定してSHRに「基学」を実施している。生徒の主体性・自発性、やる気を重んじているため事前学習の取り組みに差が大きく、教員の事後指導にも課題が残る。次年度、具体的な改善に努めたい。)

《農業教育》

- ・街角で草花や野菜の販売実習の姿を見るが、生徒さんはいつも笑顔で販売しており感心する。私はその度に関心している。自分で育てた花を地域の人たちに販売することは貴重な体験となろう。このように社会とのつながりの中で学ぶことは大切なことだと思う。(⇒校外での販売実習では、草花の栽培や管理の方法をお客様に説明することをとおして、専門的知識の定着化を図るとともに、社会性や対人関係能力、コミュニケーション能力等の社会人としての基礎的素養も身に付けている。)
- ・農業高校としての地域との交流、加工食品の販売、(最近、高校生によるお弁当やお菓子の開発・製品化・販売が話題となっているが、)企業と連携した6次産業化に向けての取り組みができないものか。(⇒注目されている産業教育の内容として、6次産業化、アントレプレナー教育、知的財産教育が挙げられる。本校にも伝統的加工品があり地域の評判も上々であるが、さらに6次産業化を推進すべく新たなブランド品開発の必要性を認識している。今年度から3年課題研究において、「地元特産のモモやアンズを利用したジュレ製品の開発」に着手し、継続的に研究を行う予定である。)
- ・様々な地域貢献の活動をとおして生徒を育成しておられ、この体験は生徒にとって貴重である。また、生徒はいろいろな人たちの中で育つと実感している。(⇒農業学習で習得した知識や技能を活かした地域交流や貢献活動をとおして、農業学習の成果を地域へ還元するとともに、地域社会とのつながりを実感しつつ、社会性やコミュニケーション能力を身につけさせたい。)

【質問】

- ・「高校生の自転車の右側走行や並列走行が気になるが、学校での指導は？」
⇒道路交通法改正に伴って、自転車は車両として左側通行が定められており、違反すると法的な罰則が課せられることを集会等で話題にし、注意を促している。

- ・「高校生の乗車マナーや駅の連絡通路での屯が気になるが、学校での指導は？」
⇒地域自治会のあいさつ運動と合わせて、11月に乗車マナーの向上を訴える「マナーアップキャンペーン」を生徒会が中心となって実施している。また、月1回、篠ノ井駅前駐輪場で「自転車盗難防止啓発活動」を各クラス輪番で実施しており、その際に公衆マナーの不適切行為や迷惑行為を発見すれば注意をしている。屯している実態は承知しているが、一時期より少なくなっていると思われる。校内の生徒指導講話では、地域の声も代弁し、それらの事を生徒に伝え意識の啓発に努めている。
- ・「記録的な大雪で、地域の生活道路の除雪が（地域住民の除雪についての考え方も変化してきていて）なかなか進まない状況もあるが、学校の対応は？」
⇒昨日17日（月）は、2時限カットし3時限目から授業を開始した。登校できなかった生徒は少なかった。温室前の市道は、土日に重機を使って職員が一斉に除雪を行い、近隣住民の生活道路を確保した。西門から駅方面への生徒通学路は、これから生徒によって除雪を行う予定である。

【 スクールコンプライアンスについて 】

- ・学校側から「コンプライアンス推進委員会の設置」「非違行為ゼロ宣言」「本年度の活動報告」「長野県の懲戒処分件数の推移」について説明した。
- ・学校評議員である近隣中学校の校長先生からは、「非違行為防止の原因と防止策」について資料に基づき、自校の取り組みをご説明いただいた。
- ・外部コンプライアンス委員や学校評議員の皆さんからは、ご自身の職場や職歴、今までのご経験からご発言をいただいた。
- ・不祥事を根絶するためには、個人の問題として片付けるのではなく、「他山の石」として捉えて、教職員全体で取り組む必要がある。とかく個人中心で同僚間のコミュニケーションが少なくなりがちであるが、不祥事防止・根絶に取り組む中で学校チーム力を高めていくことが大切である。
- ・「根絶には、教職員一人ひとりが自覚するしかない。」ことは言うまでもないが、同僚として相互に尊重し、相互の連携や情報交換し合い、風通しのよい職場にすることが大切である。また、定期的に自己を振り返ることも必要である。
- ・教員が単独で指導する課外活動では注意する必要がある。また、宿泊が伴う遠征も同様である。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- (1) 学校評議員の方々からは、肯定的かつ賛同のご意見を多くいただき、地域からの厚い期待と信頼を実感することができた。また一方、地域で直接見える生徒の様子や行動については、多くのご意見やご要望をいただいたので、真摯に受け止め、次年度の評価目標の設定の参考としたい。
- (2) いのちを教材として取り扱う農業科の特色を活かし、汗を流しながら多様な体験をとおして心技体のバランスのとれた人間教育を進めたい。基礎学力の定着と専門性の陶冶に重点をおく学習指導、キャリア教育を基盤とする系統的な進路指導、自ら正しく判断し行動できる自己指導力を育成する生徒指導を三本柱に据えて、中長期的なビジョンを持った学校運営を推進していきたい。
- (3) 学校評議員の方々には、1年間をとおして評議員会以外にも、授業参観や収穫祭、研究発表会などの様々な行事にもご参加いただき、多角的な視点から教育活動をご覧いただき、評価していただくことができた。